

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまいはーとここあ高取		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 25日		～ 令和7年 11月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性や支援に合わせた課題、自立に向けた課題等、数多く準備し対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつに課題BOXがあり、スケジュールに沿って取り組む習慣を作っています。専門職員による個別支援も行い支援の充実に努めています。 ・課題の時間にはチャイムや音楽を鳴らし、切り替えができるよう取り組んでいます。 	引き続き、支援前の職員間の話し合いの時間をしっかり設け、皆が共有でき、支援に当たれるようにしていきます。支援計画書会議を行ったうえで、個々に合った支援課題を増やし、提供していきたいと思えます。
2	視覚支援を充実させている。	室内を整理し、視覚的に邪魔になるものは置かないようにしています。スケジュールボード、課題BOX等写真を使い子どもたちに分かりやすいようにしています。「良くない行動」「声の大きさ」など視覚支援で分かりやすくしている。時計の読めない子どもには砂時計を使い時間の経過が分かるようにしています。	絵カードやマッチングカードなどの種類を増やしていきたい。言語化が難しい子どもに対する視覚支援の幅を広げたいと思えます。
3	集団療育、イベント等コミュニケーションの場を多く設けている。	皆が参加できるような集団活動や小集団活動を提案し実行している。季節を感じる食育や活動、運動会、クリスマス会、節分等子どもが楽しめるイベントを行っている。職員同士のコミュニケーションをしっかり取る事で色々な意見や活動の提案ができています。保護者の方には、活動の内容などが写った写真を毎月まとめて送り報告しています。	新しい活動や、イベントを増やしていきたい。子どもたちが発表できる場面や、地域のイベントなども積極的に参加していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が狭く感じる時がある。	同じ部屋で子どもたちが活動する場面が多くあることで、狭く感じる時がある。	部屋を分けたり、小集団のグループでの活動を増やしていくことで空間が広く感じるようになる。机の使い方を工夫する。
2	事業所の支援プログラムや、活動プログラムについて、保護者の方にあまり周知されていない。	「ここあ通信」や口頭だけでの発信では分かりにくい。	通信以外での発信を増やしていき、ホームページを見ていただいたり、活動についてのご報告やご理解の場を増やしていきたい。
3			